



2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

2026年2月13日

株式会社 **STG**
(証券コード：5858)

業績サマリー（P / L）

第3四半期の連結売上高は、**過去最高を更新**。ただし、E-Cast Industries Sdn. Bhd.（以下、E-Castという。）の子会社化に伴い、一過性のM & A関連費用が発生し、四半期純利益は184百万円にとどまった。

売上高

4,962 百万円
前年同期比+6.6%

営業利益

203 百万円
前年同期比△43.2%

経常利益

256 百万円
前年同期比△33.1%

四半期純利益

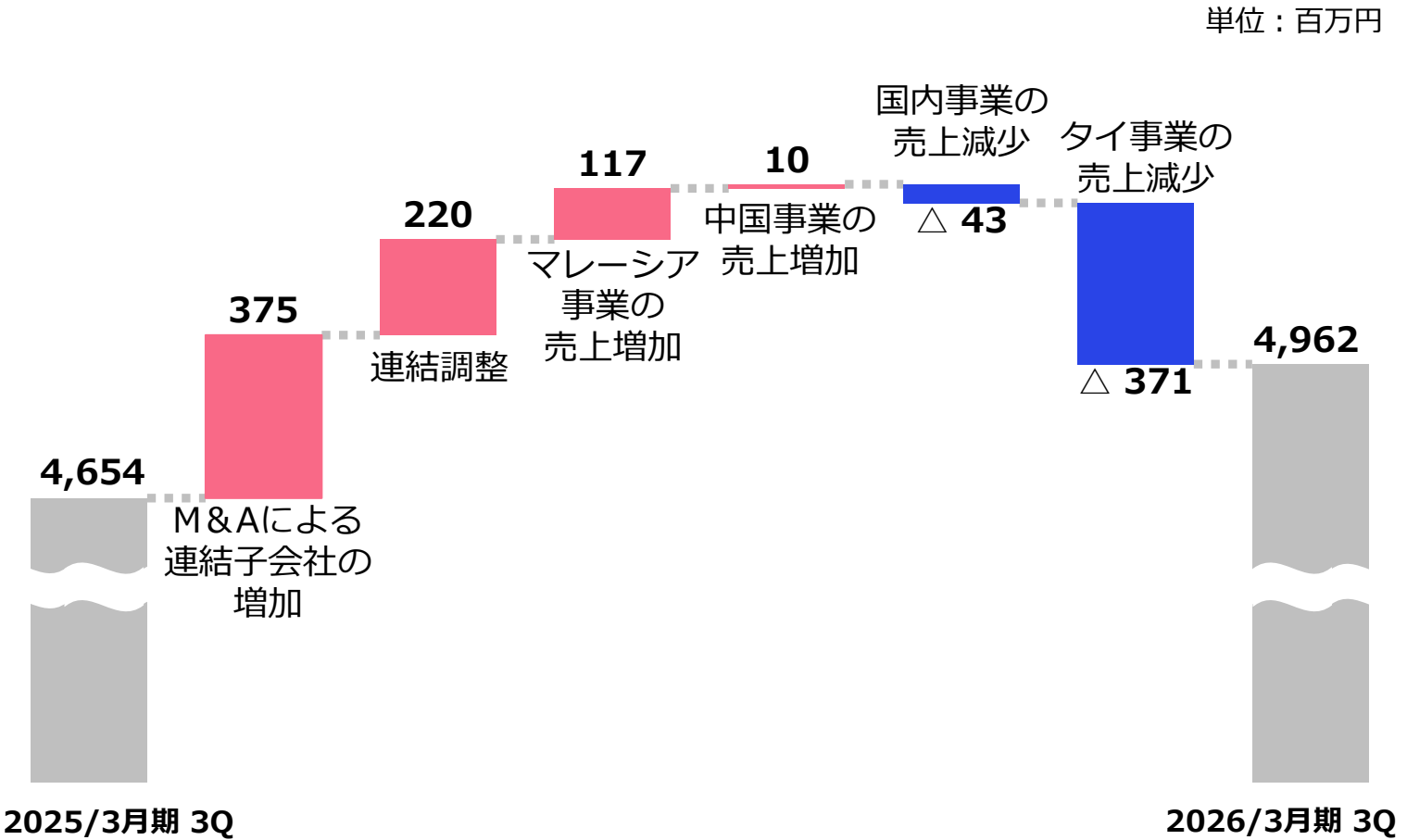
184 百万円
前年同期比△38.8%

単位：百万円

	2025年3月期 3Q実績	2026年3月期 3Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率（%）
売上高	4,654	4,962	+308	+6.6%
営業利益	358	203	△155	△43.2%
営業利益率	7.7%	4.1%	△3.6%	-
経常利益	382	256	△126	△33.1%
経常利益率	8.2%	5.2%	△3.0%	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	302	184	△118	△38.8%

売上の増減分析

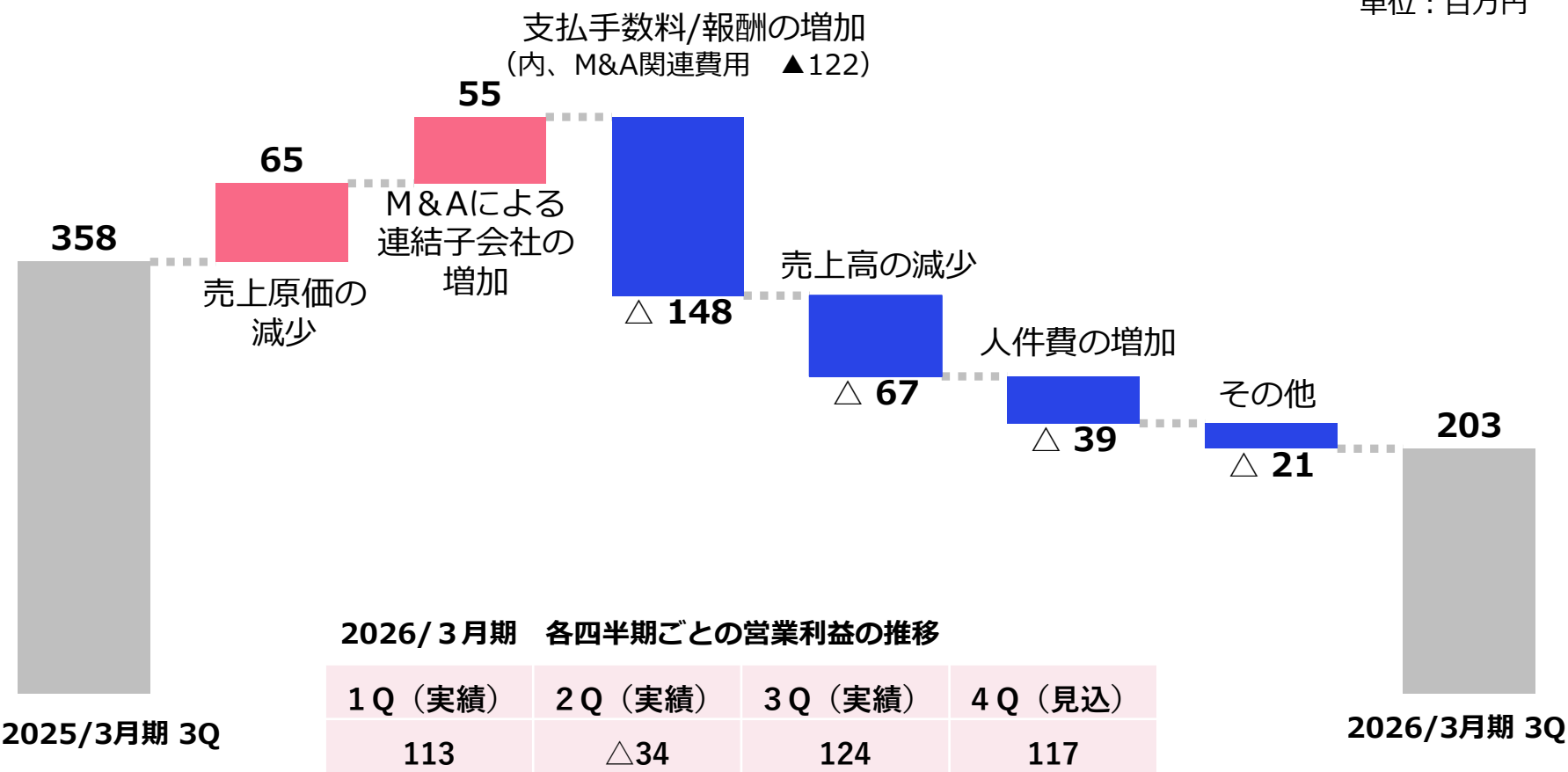
M & Aによる連結子会社の増加に加え、マレーシア事業・中国事業が堅調に推移したことにより、連結売上高は前年同期比6.6%増加の4,962百万円となった。



営業利益の増減分析

第2四半期に発生したM&A関連費用（122百万円）の影響等により、第3四半期末時点では、営業利益は前期比マイナスとなった。引継ぎにかかる費用の発生等はあるものの、第3四半期3ヶ月間単独の営業利益は通常ベースに回復している。

単位：百万円



業績サマリー（B/S）

M & Aの実施により資産・負債ともに大幅に増加したものの、自己資本比率は30%以上を維持した。

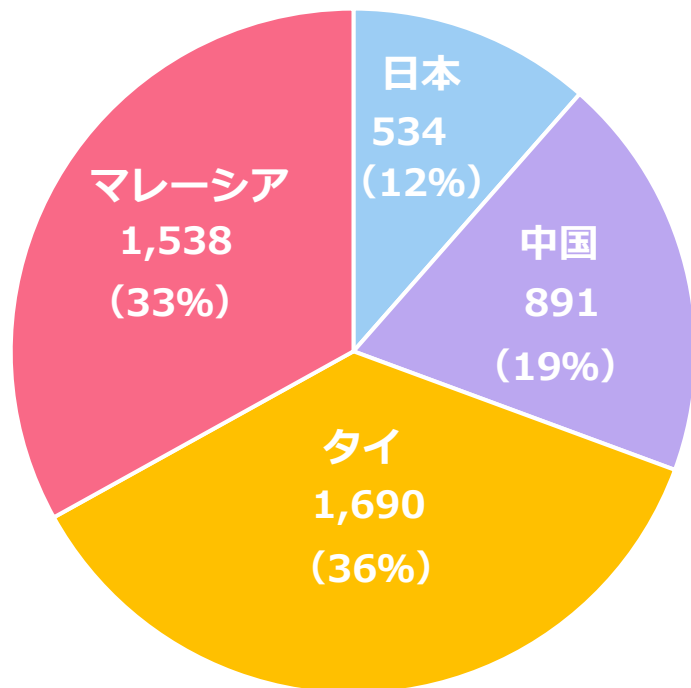
単位：百万円

	2025年3月期 実績	2026年3月期 3Q実績	前期末比 増減額	増減要因
流動資産	3,967	5,188	+1,220	M & Aの実施により、資産・負債とも大幅に増加。
固定資産+繰延資産	2,685	4,611	+1,926	
資産合計	6,652	9,799	+3,147	
流動負債	2,485	3,448	+962	
固定負債	1,743	3,370	+1,627	
負債合計	4,228	6,818	+2,589	
株主資本	1,967	2,638	+670	M & Aにより20億円の銀行借入を実施したが、自己資本比率は30%以上を維持した
その他の包括利益等	456	342	△113	
純資産合計	2,423	2,981	+557	
負債純資産合計	6,652	9,799	+3,147	
自己資本比率	36.4%	30.4%	△6.0%	

国別売上高

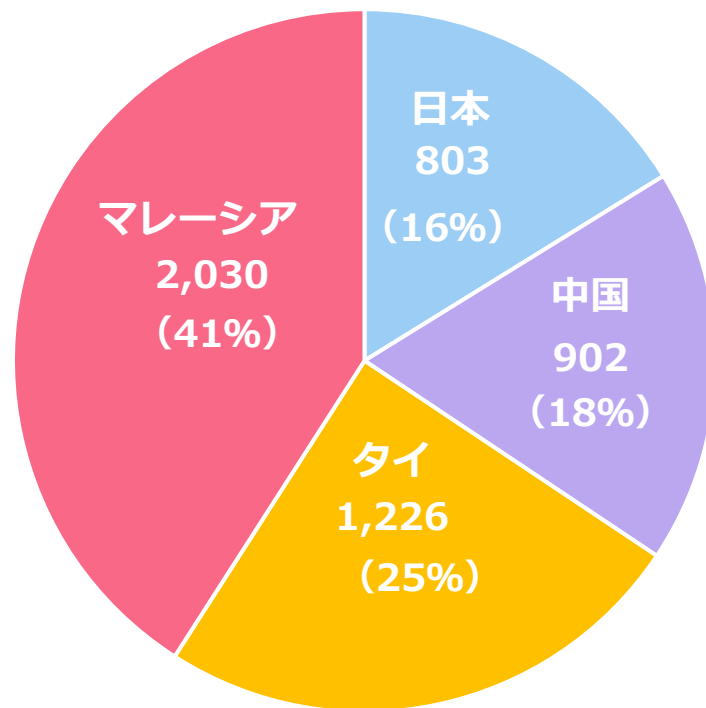
2025年3月期3Q

4,654百万円



2026年3月期3Q

4,962百万円



2025年9月に実施したM&Aの「みなし取得日」は6月30日であるため、マレーシアには新規子会社の売上高3か月分が含まれています。

■ 日本 ■ 中国 ■ タイ ■ マレーシア

(注) 売上高は生産した**工場の所在地**を基礎とし、国又は地域に分類しております。
なお、中国には香港を含んでおります。

(有価証券報告書ベースのセグメント情報は、**顧客の所在地**を基礎としております。)

業績予想サマリー（P / L）

2025年11月に公表した修正業績予想については、現在まで予想どおりに進捗しています。下表中の一部の進捗率が75%を下回っていますが、これは2025年9月取得のE-Castの損益が、第3四半期および第4四半期のみ反映されるからです。

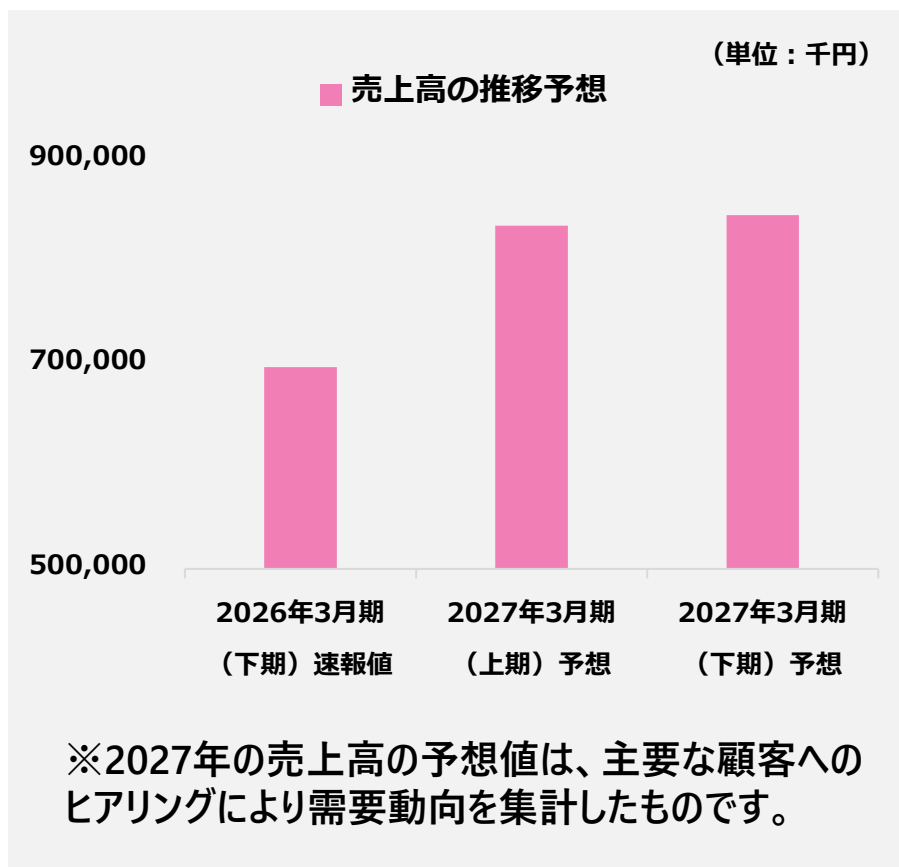
単位：百万円

	2026年3月期 修正業績予想	2026年3月期 3Q実績	進捗率
売上高	6,800	4,962	73.0%
営業利益	320	203	63.5%
営業利益率	4.7%	4.1%	—
経常利益	340	256	75.4%
経常利益率	5.0%	5.2%	—
親会社株主に帰属する当期純利益	250	184	73.9%
1株当たり当期純利益	121円34銭	82円5銭	△39円29銭

※当社の連結決算は、国内事業については2025年4月～2026年3月の1年間を決算期とし、海外子会社については2025年1月～2025年12月の1年間を決算期として、連結しております。

新規連結子会社の状況

2025年9月に子会社化したE-Castについては、2026年3月期はM & A関連費用以外にも引継ぎにかかるコスト等の影響があるものの2027年3月期は、買収時の期待どおりの業績となることを見込んでいます。



シナジー創出の基盤づくり

顧客の反応を確認すると共に、顧客の新しいE-Castへの要望を汲み取り、E-Castの強みを最大限に活かすことに配慮した事業統合をおこなう。

マレーシア拠点連携

マレーシアのジョホールバルにある既存子会社のSTX PRECISION (JB) SDN. BHD.と協力体制を築き、営業面の連携を開始。生産面の連携も進めている。

本資料の取扱いについて

本資料は、情報提供を目的として当社が作成したものです。

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれおり、これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点において当社が利用可能な情報に基づいて作成されています。これらの記述は、**将来の結果や業績を保証するものではありません。**

このような将来予想に関する記述には、既知及び未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、**将来の実際の結果や業績は、将来予想に関する記述によって明示的又は黙示的に示された将来の結果や業績の予測とは大きく異なる可能性があります。**

これらリスクや不確実性には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。